

地域とともに持続可能なまちづくりを目指して

一般社団法人キタ・マネジメント 企画広報係 伊賀 綾乃



町並みが消える危機

大洲市は愛媛県の西部に位置し、大洲盆地の中心を清流肱川が流れています。江戸時代には伊予大洲藩6万石の城下町として栄えた地域で、肱川の水運の拠点として木蠟業、製糸業、木材などで栄えた明治・大正・昭和初期の景観が今も残っており、景観条例や町並み保全の補助金などで守ってきました。

しかし、人口減少や高齢化が問題視されている中、2017年頃から城下町エリアに残る空き家問題が急速に表面化し、風情ある町並みが消失する危機的状況にありました。このまま何もしなければ、町の景観が失われてしまい、町を残すことができなくなると危惧した地元の若者が中心となって、空き家の清掃や簡単な維持修繕などのボランティア活動を開始しました。

町並みの再生に向けて

同時期に、市役所職員と地域金融機関行員による勉強会が立ち上がり、専門家によるアドバイスを受けながら、大洲のまちづくりの仕組みを作り上げていきました。

2018年にバリューマネジメント株式会社、株式会社NOTE／一般社団法人ノオ

ト、株式会社伊予銀行、大洲市による官民連携協定を締結し、明確な役割分担を行い、町家・古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくりを進める基礎ができ、同年、市の全額出資により大洲の観光まちづくりを担う地域DMOである（一社）キタ・マネジメントが組成されました。

そして、翌2019年から2023年の間に多くの歴史的建造物が「NIPPONIA HOTEL 大洲 城下町」や店舗として再生・活用され、まち全体が一つのホテルと見立てた「分散型ホテル」事業を展開しています。

町並み再生を進める上で、大洲市では、「大洲市観光まちづくり戦略ビジョン」におい



改修後



改修前



NIPPONIA HOTEL 大洲 城下町外観

て欧米豪州や台湾・香港のインバウンドを誘客のターゲットとして設定しました。その理由として、人口減少に伴い今後国内旅行者の

増加を見込めないことに加え、特に欧米豪州のインバウンドは、日本の歴史や伝統文化を体験したいというニーズが強い傾向があるので、大洲の特性に適していると感じています。インバウンドをターゲットとすることで、海外からの宿泊者・来訪者が増えることが期待でき、最終的に観光を手段として、未来に文化を残していくことができると思っています。

町の再生を体験する

分散型ホテルの展開と同時に、文化財を活用した「大洲城キャスルスステイ」を2020年より開始しました。「見る」文化財から、「体験する」文化財を目指し、大洲藩初代藩主が入城した時を再現。地元の神楽や鉄砲隊の祝砲で城主をお出迎えし、高価格なコンテンツ

ではあります。が「歴史体験ができる」という意見を多くいただき、開始より延べ50組以上にご利用いただいています。

また、「町を残す」というその過程が体験できるよう、新たな観



OZU STORIES

光コンテンツとして「OZU STORIES 大洲城下町再生の物語」を2023年に観光庁の事業を活用して造成し、インバウンドを中心に提供しています。改修前や改修後の物件を巡り、町の事業者と交流できることがこのツアーの魅力です。今年度は約40組500名以上のご利用がありました。コンテンツを通して大洲の歴史文化に触れ、観光客にとっては学びの機会となり、住民にとってはまちづくりのきっかけになればと思っています。

地域住民の参画へ

関係人口の創出の場として活用しています。

2022年より、城下町エリアの事業者向けに新たな学びの場として「大洲まちづくり大学」を毎月1回開催しています。ここでは、インバウンドの来訪者用の多言語化やサステナブルな取組み、イベント開催等を協議し実践しています。また地域住民向けに、大洲市の風土を活かしたまちづくりについて学ぶ「ディエゴ・アカデミア」を定期開催したり、地元の小・中・高生を対象に「観光教育」を実施したり、まちづくりの観点を地域住民の方々と一緒に学んでいます。

これまでの取組みが、2022年オランダにある認証団体Green Destinations（以下、Green Destinations）より評価され、「世界の持続可能な観光地100選」に選ばれたのを機に、2023年にも新たなコミュニティの創出・観光教育の点で評価され同100選に選出。2024年は今までの取組みが総合的に評価され、Green Destinationsのシルバーアワードを受賞しました。その効果は大きく、大洲を訪れる観光客は国内外ともに増加し、城下町

エリアはこれまでにないほどの賑わいを取り戻しました。また一方で、市民に対しては大洲市の魅力を再認識し、我が町に対する誇りを醸成する一助となりました。

今後より一層地域住民の方の積極的なまちづくりへの参画を促し、大洲市のまちづくりに関わる当事者の方が増えるよう、事業に取り組んで参ります。



観光教育



ディエゴ・アカデミア